

第11回社会福祉法人おおすぎ実践報告会のご案内

平素より当法人の運営に多大なご協力とご理解を頂き誠に有難うございます。

新型コロナウイルス感染症によって、昨年度開催を見送った実践報告会ですが、今年度はZOOMによるオンラインでの開催をさせて頂くこととなりました。

今までの報告と同じように、私たちが取り組んできた実践と共有することで日々の実践を振り返り、皆様からの様々なアドバイスを頂くことでより良い支援を目指していく機会にしたいと思います。

これまで同様、未熟な報告になること、さらに不慣れなオンラインでの運営の不便をお許し頂きご参加願えましたら幸いです。

【内容】

◆三重県自閉症・発達障害支援センターれんげ 堀口 佳子

「コロナ過における強度行動障害児の地域生活支援」

14歳女兒（自閉症＋重度知的障害）で、本児が4歳の頃から約10年間支援してきましたが、昨年3月に長期入院から退院、特別支援学校中等部入学、コロナ過による突然の休校が重なり、症状が悪化、学校や支援機関も十分な対応ができず、家族も限界となり緊急入所せざるを得なくなった事例です。

◆城山れんげの里 障害児通所支援事業 佐々木 悠真

「私は一番じゃないと…小学3年生の葛藤」

2歳の時に高機能自閉症と診断を受けた児童が成長するにあたり様々な課題が見えてきました。いじめやひきこもりなどを乗り越えて芽生えてきた感情や思いに寄り添いながら職員が関わってきた経過や支援について報告いたします。

◆れんげの里 施設入所支援 部谷 彰彦

「短期入所利用者への取り組みについて」

20代の男性。知的障害を伴う自閉症の方。父が長期入院となり、短期入所をせざるを得なくなった。家以外の場所で過ごさなければならない課題に対し、地域の支援者と連携しながら、行った支援とその後の本人の変化について報告します。

◆城山れんげの里 施設入所支援 太田 麻由

「安心できる環境づくりの支援」

知的障害を伴う自閉症のAさん。水中毒の診断を受け、入院を機に本人の物事のとらえ方を改めて認識しました。本人にとって職員の存在とは…？信頼関係を再構築し、安心できる環境を作ってくれる存在だと受け入れてもらえるよう模索した支援について報告させていただきます。

- 【日時】 令和4年2月13日（日）13:00～16:00
【開催方法】 ZOOMミーティング
【参加費】 無料
【定員】 50名
【主催】 社会福祉法人おおすぎ

【申込方法】

下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。また、お申込みは、2月6日（日）までをお願いします。定員を超えた場合、メ切日前であっても申し込みが出来なくなります。ご了承ください。

<https://forms.gle/LcHJgzBML2n4gAcD9>



【注意事項】 ※必ずお目通しください

- Zoom を用いたオンラインでの報告会となります。そのため、Zoom を使用できる機器および回線の準備が必要となります。
- 初めてZoomをご利用される場合は、下記よりダウンロードが必要です。

<https://zoom.us/download>

* インストール後 <https://zoom.us/test> で接続や使用方法をテストできます。

- 当日の Zoom ミーティングルームへの URL は、2 日前までに申し込みいただいた E-mail アドレスにお送りします。申込をされた方で、配信 URL が届かない場合は、事務局までお問い合わせください
- 実践報告の内容の録画、録音、配布等はしないでください。

【お問い合わせ】

城山れんげの里 井村または田畑

TEL 059-238-0001

E-mail shiroyamarenge@zb.ztv.ne.jp